

# HA8000Vシリーズ Windows Server 2022を購入する前に

ここでは、HA8000VシリーズでWindows Server 2022を購入される場合の注意事項や、制限事項について記載します。Windows Server 2022を購入される前に、必ずお読みください。

## 1 プレインストールモデルにおけるOSパーティションサイズの制限について

Windows プレインストールモデルにおいて設定可能なOSパーティションサイズは、最大16TiBまでです。

## 2 Windows Server 2022におけるSecured core機能について

Windows Server 2022 におけるSecured core 機能サポートに伴い、以下モデルのWindows Server 2022 プレインストールモデルにおいて、セットアップが完了した状態にてSecured core 有効の設定がされています。

- DL360 Gen10 Plus
- DL380 Gen10 Plus
- DL20 Gen10 Plus
- ML30 Gen10 Plus
- DL360 Gen11
- DL380 Gen11
- DL320 Gen11
- DL560 Gen11
- ML350 Gen11

システムユーティリティの詳細、およびプレインストール以外のモデルをご購入されたお客様がWindows Server 2022 をインストール後に Secured core 機能を有効にする場合は「UEFI システムユーティリティユーザーガイド」を参照願います。

## 3 Windows Server 2022のインストールについて

Windows Server 2022をインストールする場合、TPMモジュールオプションを取り付け、有効化する必要があります。TPM モジュールオプションの取り付けなどについては、各システム装置のユーザーガイドをご参照ください。

## 4 Windows Server 2022 のダウングレード権について

Windows Server 2022からのダウングレード権を使用しての新規インストールは、マイクロソフト社がダウングレード先の旧バージョンをサポートしている期間に限ります。サポート期間についてはマイクロソフト社サイトをご確認ください。  
[aka.ms/windowslifecycle](https://aka.ms/windowslifecycle)

次ページに続く

## 5 Windows Server 2022 Hyper-V環境でサポートするゲストOSについて

HA8000VシリーズのWindows Server 2022 Hyper-V環境でサポートするゲストOSについては以下のとおりです。

Windows Server 2008 Standard 32bit 版 (SP2)(\*1)  
Windows Server 2008 Enterprise 32bit 版 (SP2)(\*1)  
Windows Server 2008 Datacenter 32bit 版 (SP2)(\*1)  
Windows Server 2008 Standard 64bit 版 (SP2)(\*1)  
Windows Server 2008 Enterprise 64bit 版 (SP2)(\*1)  
Windows Server 2008 Datacenter 64bit 版 (SP2)(\*1)  
Windows Server 2008 R2 Standard (SP1)(\*1)  
Windows Server 2008 R2 Enterprise (SP1)(\*1)  
Windows Server 2008 R2 Datacenter (SP1)(\*1)  
Windows Server 2012 Standard  
Windows Server 2012 Datacenter  
Windows Server 2012 R2 Standard  
Windows Server 2012 R2 Datacenter  
Windows Server 2016 Standard  
Windows Server 2016 Datacenter  
Windows Server 2019 Standard  
Windows Server 2019 Datacenter  
Windows Server 2022 Standard  
Windows Server 2022 Datacenter  
Windows 7 Ultimate 32bit 版 (SP1)(\*1)  
Windows 7 Professional 64bit 版 (SP1)(\*1)  
Windows 7 Enterprise 64bit 版 (SP1)(\*1)  
Windows 7 Ultimate 64bit 版 (SP1)(\*1)  
Windows 8.1 Enterprise 32bit 版  
Windows 8.1 Pro 32bit 版  
Windows 8.1 Enterprise 64bit 版  
Windows 8.1 Pro 64bit 版  
Windows 10 Enterprise 32bit 版  
Windows 10 Pro 32bit 版  
Windows 10 Enterprise 64bit 版  
Windows 10 Pro 64bit 版  
Windows 11 Enterprise 64bit 版  
Windows 11 Pro 64bit 版  
RedHat Enterprise Linux 8(\*2)  
RedHat Enterprise Linux 9(\*2)

上記以外のゲストOSは未サポートとなります。

Windows ゲストOSのサポート期間は、マイクロソフト社のサポートライフサイクルに従います。  
マイクロソフト社のサポートライフサイクルは以下URLを参照してください。

<http://support.microsoft.com/?pr=lifecycle&ln=ja>

RedHat Enterprise Linux ゲストOSの詳細サポートバージョンは以下URLを参照ください。

• RedHat Enterprise Linux 8

[http://www.hitachi.co.jp/Prod/comp/linux/product/confirm/files/rhel8\\_spec.pdf](http://www.hitachi.co.jp/Prod/comp/linux/product/confirm/files/rhel8_spec.pdf)

• RedHat Enterprise Linux 9

[http://www.hitachi.co.jp/Prod/comp/linux/product/confirm/files/rhel9\\_spec.pdf](http://www.hitachi.co.jp/Prod/comp/linux/product/confirm/files/rhel9_spec.pdf)

(\*1) サポート終了に伴い、Windows Server 2022からのダウングレード権を使用しての新規インストール対象外となります

(\*2) ゲストOSがRedHat Enterprise Linuxの場合仮想ファイバチャネルは未サポートです。

次ページに続く

## 6 Windows Server 2022 Hyper-V環境でのNICチーミングについて

- Hyper-V 環境において、LBFO(Load Balancing and Faileover)機能でチーミングしたNICを仮想スイッチに割り当てることはできません。
- チーミングする場合、SET(Switch Embedded Teaming)を利用可能ですが、構成するアダプタについて以下の制限があります。
  - NIC 同士の速度を同一とすること
  - 同一のNIC 同士(同じベンダ・コントローラ)でチーミングを行うこと。

※ホストOSでは、LBFO機能のチーミングで、LANコントローラのベンダが異ってもチーミングが可能です。

## 7 バックアップソフトについて

HA8000VリリースのWindows Server 2022環境でのバックアップソフトの状況については以下のとおりです。

- ARCserve Backup :Arcserve Backup 19.0で対応しています。  
(Arcserve Backup 19.0は、2022年8月末リリース予定です)
- Arcserve UDP :Arcserve UDP 8.1(UDP 8.0の08-01)で対応済みです。  
(Arcserve UDPの修正モジュール(P00002498)の適用が必要です)  
<https://support.arcserve.com/s/article/P00002498?language=ja>

## 8 UPS管理ソフトについて

HA8000VリリースのWindows Server 2022環境でのUPS管理ソフトの状況については以下のとおりです。

- UPS管理ソフト PowerChute Business Editionについては、Ver.10.0以降よりサポートを開始しました。
- UPS管理ソフト PowerChute Network Shutdownについては、Ver.4.3以降よりサポートを開始しました。